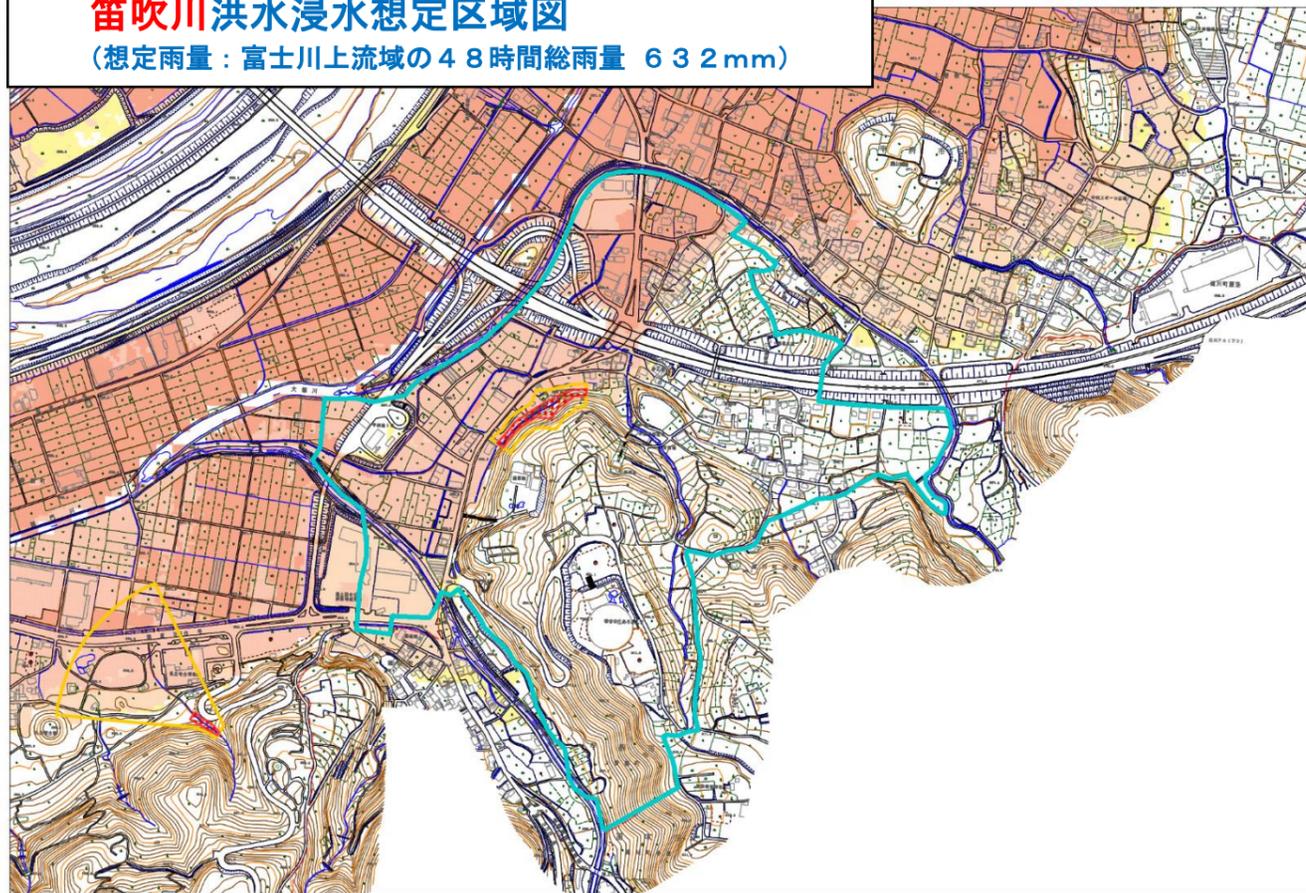


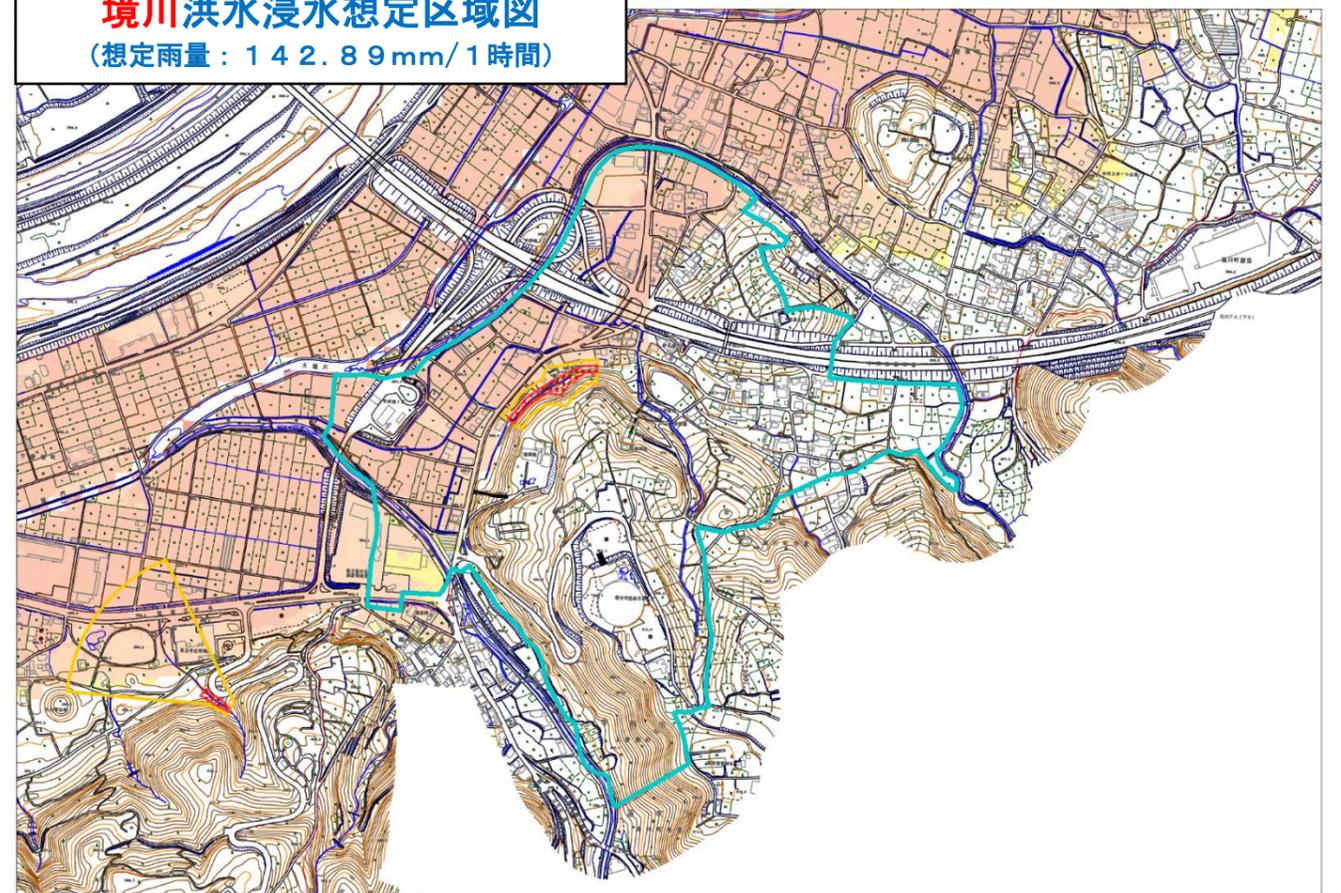
笛吹川洪水浸水想定区域図

(想定雨量：富士川上流域の48時間総雨量 632mm)



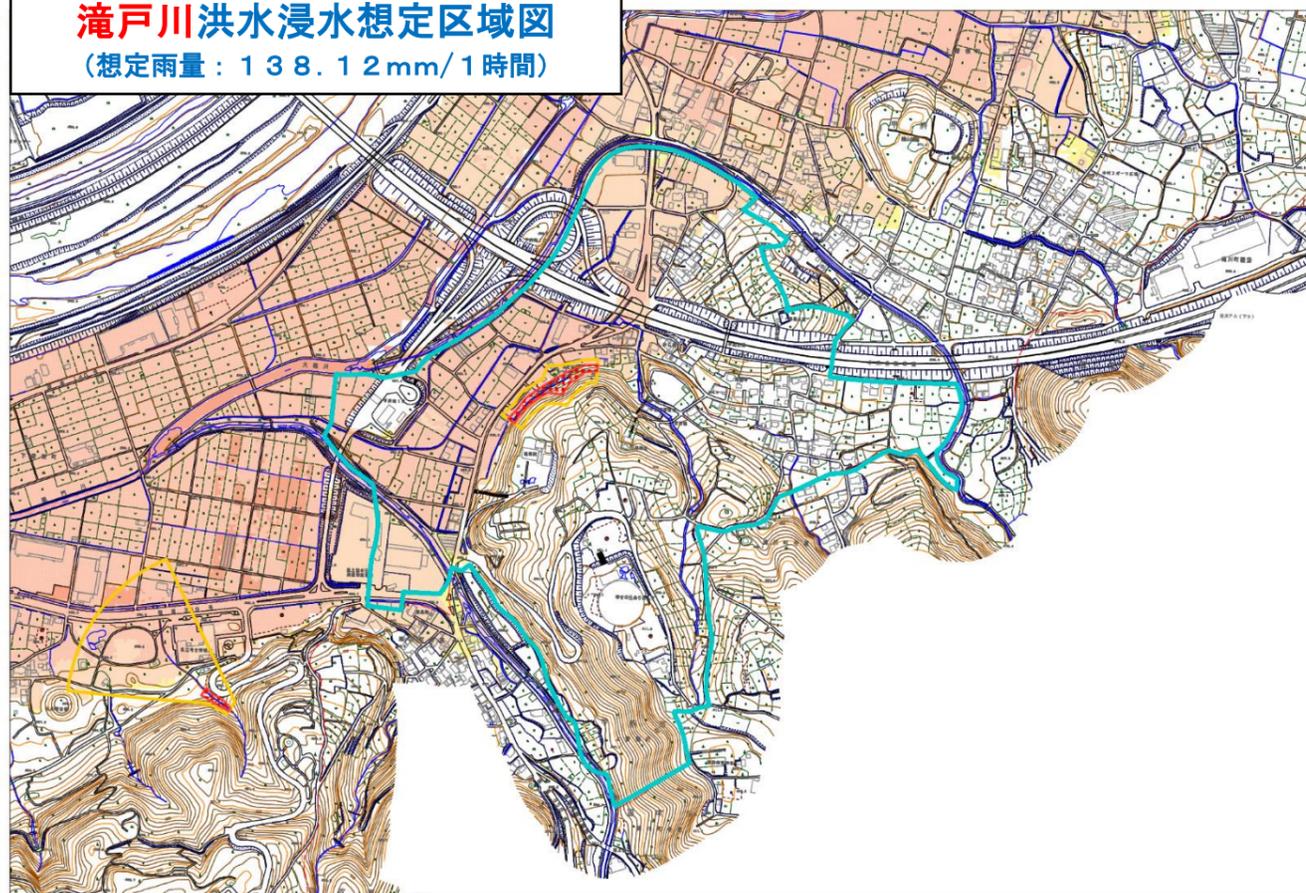
境川洪水浸水想定区域図

(想定雨量：142.89mm/1時間)



滝戸川洪水浸水想定区域図

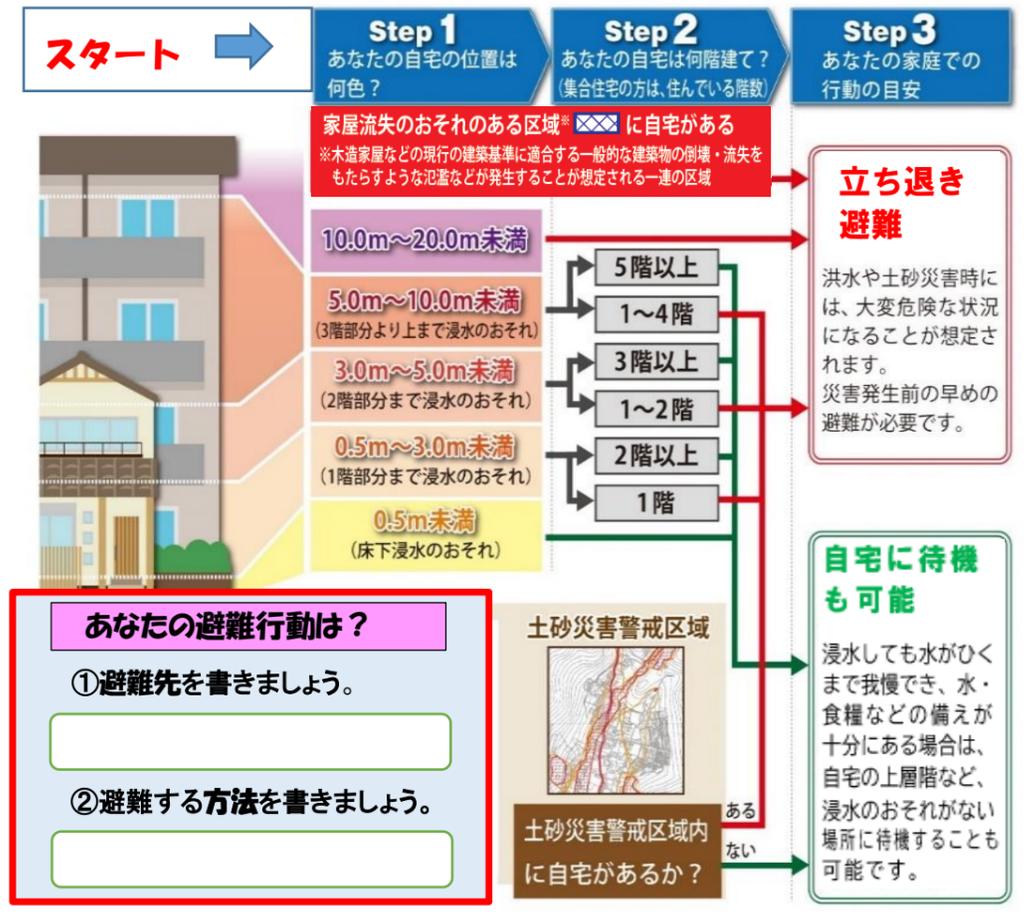
(想定雨量：138.12mm/1時間)



※「家屋流失のおそれがある区域」は表面のマップでご確認ください。

表面の地域の水害避難マップで「自宅」を確認し、右の図から大雨時にとるべき行動の目安を確認して、避難先や避難方法を記入しましょう。
 ※判定フローの内容はひとつの目安です。身の危険を感じたら、自分の判断で命を守る行動をとります。

避難行動 判定フロー



あなたの避難行動は？

①避難先を書きましょう。

②避難する方法を書きましょう。

立ち退き避難

洪水や土砂災害時には、大変危険な状況になることが想定されます。災害発生前の早めの避難が必要です。

自宅に待機も可能

浸水しても水がひくまで我慢でき、水・食糧などの備えが十分にある場合は、自宅の上層階など、浸水のおそれがない場所に待機することも可能です。